

がつごう くろーずあっぷ  
■れすぱす1月号 クローズアップ

とくていひえいりかつどうほうじん  
特定非営利活動法人 ASIAN PEOPLE' S FRIENDSHIP SOCIETY  
(APFS)

ざいじゅうがいこくじん さべつ ふりえき う く くに  
～在住外国人が差別も不利益も受けずに暮らせる国へ～

こんげつ くろーずあっぷ とくていひえいりかつどうほうじん  
今月のクローズアップは、[特定非営利活動法人 ASIAN PEOPLE' S](#)

[FRIENDSHIP SOCIETY \(APFS\)](#) をご紹介いたします。APFSは、地域社会

く がいこくじん にほんじん とも たす あ い しゃかい きず  
に暮らす外国人と日本人が共に助け合いながら生きる社会を築くこ

めざ かつどう ねん せつりつらい ねんいじょう  
とを目指して活動している NPO です。1987年の設立以来、30年以上

がいこくじんじゅうみん ざいりゅうしかく ろうどうもんだい かん  
にわたり外国人住民からの在留資格や労働問題などに関する

そうだん たいおう もんだい かか がいこくじん そう  
相談に対応してきました。APFSでは、問題を抱える外国人からの相

だん ざいりゅうしかく う い ざいりゅうしかく うしな  
談を在留資格にかかわらず受け入れており、在留資格を失ったま

にほん たいざい ひせいきたいざいがいこくじん しえん じんりょく  
ま日本に滞在する「非正規滞在外国人」の支援にも尽力していま



こんかい だいひょう よしだまゆみ  
す。今回は代表の吉田真由美さんに、

かつどうないよう はなし  
APFSの活動内容についてお話を

うかが  
伺ってきました。

だいひょう よしだまゆみし  
代表の吉田真由美氏

せつりつ けいい おし  
Q. APFS 設 立 の 経 緯 を 教 えて ぐ だ さい。

よしだ どうだんたい せつりつしゃ だんせい せんとう ば  
A. 吉田さん：当 団 体 の 設 立 者 と な っ た 男 性 が、あ る と き 銭 湯 で バ  
んぐらでしゅ き りゅうがくせい し あ はじ  
ングラデシュから来た 留 学 生 と 知 り 合 っ た こ と が そ も そ も の 始 ま り だ と  
き ねんだい なか いこう しゅうろう べんがく もくてき あ  
聞 っ て い ま す。1980 年 代 の 半 ば 以 降、就 労 や 勉 学 を 目 的 と し て、ア  
じあ くにくに おお ひと にほん く せいかつ  
ジアの国々から多くの人が日本にやっ て 来 る よ う に な り ま し た が、生 活  
さべつ もんだい くる ひと すく どうだんたい せつりつ  
や差別の問題に苦しむ人 ち ち も 少 な け ら ず い ま し た。当 団 体 の 設 立  
しゃ ばんぐらでしゅ ひと しんこう ふか なか かれ  
者 も、バングラデシュの人 ち ち と 親 交 を 深 め る 中 で、彼 ら が さ ま ざ ま な  
なや かか にほん せいかつ し ねん  
悩 みを抱えながら日本で生活していることを知り、それが 1987 年 の  
せつりつ がいこくじんじゅうみん にほんじんじゅうみん  
APFS の 設 立 へ と つ な が っ た の で す。外 国 人 住 民 と 日 本 人 住 民 が  
とも たす あ い しゃかい きず めざ かつどう どうだん  
共 に 助 け 合 い な が ら 生 き る 社 会 を 築 く こ と を 目 指 し て 活 動 す る 当 団  
たい にほん くわ ばんぐらでしゅ ふいりびん いらん びるま かこく  
体 では、日本に加え、バングラデシュ、フィリピン、イラン、ビルマの 4 カ 国  
めんばー りじ な つら げんざい かこく にん こ ひと  
のメンバーが理事に名を連ね、現 在 ま で に 30 カ 国、3,800 人 を 超 え る 人 ち  
きょうりよくかいいん  
ち が 協 力 会 員 と な っ て い ま す。

かつどうないよう おし  
Q. おもな活動内容を教えてください。

よしだ がいこくじんじゅうみん たい そうだんかつどう がいこくじんじゅうみん  
A. 吉田さん：外 国 人 住 民 に 対 す る 相 談 活 動 と 外 国 人 住 民  
きほんてきじんけんようご ていげんかつどう ふた かつどう はしらの  
の 基 本 的 人 権 擁 護 の た め の 提 言 活 動、こ の 2 つ が 活 動 の 柱 と な

もっと ちから い そうだんかつどう まいとし けんぜん  
 っています。最も力を入れているのは相談活動で、毎年1,000件前  
 ご そうだん でんわ めーる らいしょ う つ ないよう ざいりゅうしかく  
 後の相談を電話、メール、来所で受け付けています。内容は在留資格  
 かんけい ろうどうかんけい おお わりあい はんはん ろうどうかんけい  
 関係と労働関係が多く、割合はおおよそ半々くらい。労働関係  
 ろうさい ちんぎんみばら ふとうかいこ そうだん おお ざい  
 では、労災、賃金未払い、不当解雇などの相談が多いです。また、在  
 りゅうしかくかんけい ざいりゅうしかく かた ばあい へんこう こうしん  
 留資格関係では、在留資格のある方の場合、その変更や更新が  
 へんそくてき ばあい そうだん く けーす めだ にほんじん  
 変則的な場合に相談に来るケースが目立ちます。たとえば、日本人の  
 はいぐうしゃ な にほん そう  
 配偶者が亡くなってしまったが日本にこのままいられるのか、といった相  
 だん  
 談です。



かぞく こじん めい ひせいきたいざいしゃ  
 18家族2個人34名の非正規滞在者への

ざいりゅうとくべつきよか もと ぎんざばれーど  
 在留特別許可を求める銀座パレードを

おこな  
 行いました。

© Asian People's Friendship Society



りじ ひとり けいえい れすとらん  
 理事の一人が経営するレストランにて、

しゅうねんきねんぱーてい  
 APFS30周年記念パーティを

かいさい  
 開催しました。

© Asian People's Friendship Society

ざいじゅうしかく がいこくじん そうだん たいおう  
Q. 在 住 資格のない外国人の相談にも対応しているそうですね。

よしだ ざいりゅうしかく かか もん  
A. 吉田さん：はい。APFSでは、在 留 資格のあるなしに関わらず、間  
だい かか がいこくじん そうだん たいおう ざいりゅうしかく  
題を抱えている外国人の相談に対応します。在 留 資格のないまま  
にほん たいざい ひせいきたいざいがいこくじん かた こんご にほん く  
日本に滞在している非正規滞在外国人の方から、今後も日本で暮  
らすためにはどうすればいいのかという相談を受けることも多いです。日  
ほん う こ にほん りゅう かた  
本で生まれた子どもがいるなど、日本にいるべき理由がある方については、  
ひせいきたいざいがいこくじん せいきか ざいりゅうとくべつきよか ざい  
非正規滞在外国人が正規化される「在 留 特別許可」によって在  
りゅうしかく しゅとく ひつようしょるい あどばいす にゅうこく  
留 資格が取得できるよう、必要書類のアドバイスをしたり、入 国  
かんりきょく しゅつとう さい どうこう しえん すで  
管理局へ出頭する際に同行するなどの支援をします。また、既に  
にゅうこくかんりきょく しゅうよう かた かりほうめんきよか しん  
入 国 管理局に収容されている方についても、仮放免許可の申  
せい さぼーと かぎ しえん おこな ざい  
請をサポートするなど、できる限りの支援を行っています。もちろん、在  
りゅう みと かのうせい ぜろ ちか おも けーす かずおお  
留 が認められる可能性はゼロに近いと思われるケースも数多くあり  
ます。それでも「国には帰れない」と言う方たちに、私たちが帰るよう求  
めることはありません。かのうせい そっちよく つた  
可能性がほぼないということは率直に伝えます  
が、それでもできることを かんが さぼーと  
考えてサポートしています。

にほん おお ひせいきたいざいしゃ そんざい りゅう はいけい おし  
Q. 日本に多くの非正規滞 在 者が存在する理由と背景を教えてください。  
ださい。

よしだ かれ おお ねんだいこうはんいこう あじあかっこく に  
A. 吉田さん: 彼らの多くは、1980年代後半以降にアジア各国から日

ほん でかせ がいこくじんろうどうしゃ ばぶるま さか に  
本に出稼ぎにやってきた外国人労働者です。バブル真っ盛りだった日

ほん こうじょう けんちくげんば いんしょくてん かれ ろうどうりよく ひつ  
本では、工場や建築現場、飲食店などで彼らの労働力を必

よう しょくむしつもん ざいりゅうしかく き ちょうかたいざい  
要としたため、たとえ職務質問で在留資格が切れて超過滞在に

みのが たた  
なっていることがわかって、そのまま見逃されることが多々ありました。こ

ざいりゅうしかく にほん はたら つづ かれ にほん  
うして在留資格がないまま日本で働き続けた彼らは、やがて日本で

けっこん こ う ご にほん けいざいじょうきょう へんか  
結婚し子どもが生まれます。その後、日本の経済状況の変化とともに

ひせいきたいざいがいこくじん と ま かんきょう きび いま  
に非正規滞在外国人を取り巻く環境は厳しくなりましたが、今にな

くに かせ い かれ にほん う にほんご はな  
って国へ帰れと言われても、彼らには日本で生まれ、日本語しか話せず、

にほん がっこう かよ にほんじん こ おな せいかつ こ  
日本の学校へ通い、日本人の子どもと同じように生活する子どもがい

こ ざいりゅう みと おや かせ い  
るのです。たとえ子どもの在留は認めるから親は帰りなさいと言われて

こ にほん お かせ ひじょう むずか げん  
も、子どもだけを日本に置いて帰るということは非常に難しいのが現

じつ ちちおや ははおや くに はな ねん ねん た  
実です。また、父親・母親も国を離れて10年、20年と経っているの

くに もど しごと せいかつ な た けーす おお  
で、国へ戻っても仕事がなく生活が成り立たないケースも多いのです。

かれ にゅうかんほう いはん じじつ にほんしゃかい つごう りょう  
彼らが入管法に違反したのは事実ですが、日本社会の都合で利用

りょう ひつよう きこく せま ゆる  
したいときは利用し、必要なくなったら帰国を迫ることが許され

ていいのでしょうか。



いじゅうろうどうしゃ つど かいさい  
移住労働者の集いを開催。

とうじしゃ がいこくじんろうどうしゃ  
当事者である外国人労働者や

ひせいきたいざいかぞく こ こえ き  
非正規滞在家族の子どもたちの声を聞きました。

© Asian People's Friendship Society



ひせいきたいざい かぞく さぼーと  
非正規滞在の家族をサポートする

かぞくいっしょ きゃんぺーん かいし  
「家族一緒に！」キャンペーンを開始。

きっくおふしんぼじうむ かいさい  
キックオフシンポジウムを開催しました。

© Asian People's Friendship Society

Q. これまでの活動の中でとりわけ忘れられない出来事がありますか。

A. 吉田さん：当団体で支援していた男性が強制送還される際、

飛行機の機内で亡くなるという出来事がありました。日本人の奥様をサ

ポートし、護送していた入国管理局の職員の行為に問題がなか

ったのかを問う行政訴訟を起こしたことも含めて、この一件は忘れ

ることができません。この男性の支援をしていたのが私でなかったら、彼

は無事に在留資格を取得して日本で奥様と幸せに暮らしていたの

ではないか、自分はこの仕事を続けていっていいのかと、長い間葛藤し

ました。一方、無事に在留資格を取得して、その後レストランを開い

きぎょう にほん しあわ す かぞく すがた み  
たり起業したりと、日本で幸せに過ごしている家族の姿を見ることが  
しごとほんとうよおも  
できたときは、この仕事をやっていて本当に良かったなと思います。

かつどう かだい  
Q. 活動における課題はどんなことでしょうか。

よしだ じんざいいくせい ざいせい きふ かいひ たよ  
A. 吉田さん：人材育成と財政ですね。寄付と会費に頼っているので

しきんぐ つね きび せんじゅうすたっふ めい ぼらんていあ かつどう き  
資金繰りは常に厳しく、専従スタッフ2名とボランティアで活動を切

も じょうきょう あら すたっふ やと じゅうぶん  
り盛りしている状況です。新たなスタッフを雇いたくても十分なお

きゅうりょう だ こころぐる こんご かつどう いっしょ  
給料を出せないのが心苦しいところですが、今後の活動を一緒に

ささ ひと ひつよう おも さいしょ ほうりつ せんもん  
支えてくれる人が必要だと思っています。最初から法律などの専門

ちしき もと そうだん こ かた おお に  
知識を求めることはありませんし、APFSに相談に来られる方の多くは日

ほんたいざいれき なが ごがく にほんご えいご みっくす はな てい  
本滞在歴が長いので、語学も日本語と英語をミックスして話せる程

ど だいじょうぶ らいにち ま かた そうだん こ ばあい  
度で大丈夫です。また、来日して間もない方が相談に来られた場合に

そうだんしゃ いま にほん ていちゃく く かた さぽーと  
は、かつての相談者で今は日本に定着して暮らしている方がサポート

しょうらい すたっふ なに もと わたし  
してくれます。ですから、将来のスタッフに何を求めるかといえば、私

かつどう きょうかん いっしょ おも かた  
たちの活動に共感して一緒にやっといこうと思ってくれる方、という

だいいち おも  
のが第一かと思っています。

がいこくじんろうどうしゃ うけい かくだい こんご かつどう てんかい  
Q. 外国人労働者の受入れが拡大されます。今後の活動の展開に

おし  
ついて教えてください。

よしだ おうべい いみん かん ほうりつ  
A. 吉田さん：欧米では、移民に関する法律

かいせい さい ざいりゅうしかく うしな  
が改正される際などに、在留資格を失っ

がいこくじん いったい じょうけん ざいりゅうし  
ている外国人に一定の条件で在留資

かく ふっかつ あむねすてい じっし  
格を復活させる「アムネスティ」が実施される

こんかい にゅうかんほう  
ことがあります。APFSでは、今回の入管法

かいてい き あむねすてい にほん じっし うった  
の改定を機に、このアムネスティを日本でも実施するよう訴えていき

かんが あら がいこくじんろうどうしゃ よ まえ ひせいきたいざい  
いと考えています。新たな外国人労働者を呼ぶ前に、非正規滞在

にほん ていちゃく ていじゅう にほんご にほんしゃかい  
になってはいるものの、日本に定着・定住し、日本語も日本社会も

し がいこくじん ごうほうか もっと  
よく知る外国人を合法化してほしいのです。APFSではこれまで、最も

たちば よわ けんりしゅちょう むずか ひと さぼーと ころ  
立場が弱く、権利主張が難しい人をサポートするということを心

こんご ひ つづ ざいりゅうしかく うしな  
がけてきました。今後も引き続き、在留資格を失っているがゆえに、

こえ あ ひと じんけん ようご かつどう すす  
なかなか声を上げられない人たちの人権を擁護するための活動を進め

かいてい にゅうかんほう しょうさい こんごしだい み  
ていくつもりです。改定される入管法の詳細も今後次第に見えて

く おも ひせいきたいざいがいこくじん ごうほうか む ていげん  
来ると思うので、非正規滞在外国人の合法化に向けた提言をしっか

おこな おも  
りと行っていきたいと思います。

